

## ◀◀ 2019年学術委員会企画シンポジウムと第7回学術研究優秀賞 ▶▶

第34回日本脊髄外科学会での学術委員会企画シンポジウムは、学会初日の2019年6月20日（木）に開催します。これまでと同様に、基礎研究に関する教育講演と、公募演題によるシンポジウムの二部形式を行います。本シンポジウムは、脊椎・脊髄の基礎研究の普及と推進を目的としています。

教育講演は、新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター教授でセンター長をされている五十嵐博中先生にお願いいたしました。五十嵐先生はアクアポリンと脳の髄液循環に関する世界トップクラスのご研究をされています。第34回日本脊髄外科学会では、脊髄空洞症が外科治療のシンポジウムの一つとしています。脊髄には様々な浮腫性・嚢胞性病変が発生し、時には脊椎変性疾患においても病態に関与します。本シンポジウムの教育講演では、中枢神経の髄液循環を分子レベルで学び、脊椎脊髄疾患における“水”の役割を考えてみたいと思います。

学術委員会企画シンポジウムの演題は、応募演題から選出した基礎研究の発表となります。シンポジウム演題の募集は、純粋な基礎研究に限らず、画像解析による病態解明、病理組織の形態分析、脊椎・脊髄・末梢神経の微小解剖、臨床神経生理検査による機能解析など、臨床症例に関連した研究を含めて募集いたします。髄液循環に関する基礎研究は今回のテーマの一つでもあり、歓迎いたします。基礎研究では、既に当学会で発表されたテーマでも、新たな知見が得られた場合には、その後のup-dateとしての発表でもかまいません。

応募いただいた基礎演題は、学術委員会によって抄録を厳正に審査し、シンポジウム演題を数題決定いたします。選出された演題は、シンポジウム当日の発表を学術委員中心の審査員でさらに審査を行って最優秀の発表1題を決定し、第7回学術研究優秀賞として、副賞（10万円）とともに表彰いたします。なお、今回より、原則として過去に学術研究優秀賞を受賞した先生は受賞の対象外となります。会員の皆様、こぞって応募をよろしくお願いいたします。

日本脊髄外科学会 学術委員会  
委員長 小柳 泉